

流れ分析法の使用状況に関するアンケート調査のお願い

(一社) 日本環境測定分析協会 水質・土壌技術委員会

流れ分析 (FIA 及び CFA 等) の JIS K0170 は 2011 年に制定されました。2013 年に JIS K 0102 に引用され、2014 年には環境省の 9 つの告示が改正され流れ分析法の一部が公定法となりました。2019 年 3 月 20 日には、JIS K 0170、JIS K 0102 及び環境省告示が同時改正され、流れ分析法が使いやすくなりました。

現状の流れ分析に関する JIS と環境省告示について整理したのが別表です。流れ分析法ごとに、規定されている JIS 並び項番号及び環境省告示等を示しています。

前回の JISK0170 改正から間もなく 5 年になりますので、日ごろ皆様が流れ分析を実施されていてお気づきの点やご要望とともに、分析の根拠となっている文書(法令や規格等)について、現状調査を致しますのでご協力をお願い致します。

集計結果の概要につきましては、今後の JIS 改正時の参考資料として、JIS K 0170 原案作成委員会に提供させていただきますので、予めご了承ください。

回答用のエクセルファイルは、記載の注意事項、個別事項、使用している分析方法の出典コードの 3 つのワークシートになっています。

個別事項の記載方法について

- 個別事項については、ワークシートを分析項目数分コピーして、項目毎にご回答ください。
- ワークシートの名称は、「個別事項」となっていますが、項目名に変更してください。
- 問 4 (分析方法) の回答について例を示します。ふっ素の流れ分析法に関しては、水質汚濁に係る環境基準について (昭和 46 年 12 月環境庁告示第 59 号) において、JIS K0102 の 34.4、JIS K0170-6、JIS K0102 の 34.1.1c を参照しています。これらの JIS のいずれかを根拠としている場合は、環境庁告示第 59 号をご回答下さい。
回答は集計作業の都合によりエクセルシートに **F-4** とコードで入力をお願いします。また、一覧にない分析方法 (例: 海洋観測指針) を用いている際はその他のコードと実際に使用している分析方法を記載してください。
- 実際の分析で不具合や問題点その他ご要望等がありましたら、問 5 に文章でコメントをお願い致します。
- アンケートにご所属や担当者名等の記入をお願い致します。
頂いた情報は、ご回答いただいた内容の詳細をお伺いする場合にのみ使用し、集計結果には記載致しません。
- PDF 等に変換せず、エクセル形式のまま、様式内に記載された宛先に送付願います。
- ファイル名「tec_23sv-flow」に機関名 (支店名等を含む) を加え保存して下さい。

